

『テニピン』実施レポート

学校名	函館市立駒場小学校	実施日	8月3日～5日
担当教員名	教頭 宮森仁之	実施学年/人数	全学年/75名
学校学級紹介	<p>夏季休業期間における児童の学びと遊びの場として提供した「こまぱっ子 学び遊びウイーク」の一環として、「テニピン体験会」を企画し実施した。 ※参加者は、自由参加となっているため、参加者人数は3日間の延べ人数である。 ※参加学年についても、1年生から6年生まで様々である。</p>		
実施内容	<p>①指導者(教員)による球だしのボールを打った。 ②慣れてきたら児童は、2人や4人で打ち合う簡単なゲームを行った。 ※低学年は、お互いに打ち合うことは難しく、指導者(教員)による球出しを打つことを続けた。 ※短時間での実施だったため、ゲームをするより、長くラリーを続けることを目標として実施した。</p>		
指導のポイント	上記に合わせて記載		
感想・印象 今後の実施計画	<p>・借用期間を延長していただき、2学期の体育の授業で活用を図りたかったが、体育館が暑い日が続き、熱中症対策もあり、授業での使用はできなかった。また、別な機会があれば、お願いしたい。 ・コロナ禍におけるネット対戦型ゲームとして、密にならない種目として取り組みやすい印象を受けたが、ラケットの使用後の消毒が必要となった。 ・今後ラケットを自作するなどして、さらにゲームを楽しめるような計画を立てていきたい。</p> <p>※なお、授業として実施できなかったため、指導案や児童の感想は特にございません。ホームページへの掲載は、保護者の許諾がとれていないのでできませんが、様子がわかる写真としてのみ提供します。</p>		

以下についても御協力お願いします。

- 1) 指導案
- 2) 児童感想文（ホームページに掲載可能なもの）
- 3) 写真2枚程度（ホームページに掲載可能なもの）

なし

なし

ホームページ掲載はできませんが、学校だよりや当日の写真を送ります。

学校教育目標

かがやけ はばたけ こまばっ子 学びのその先へ

めあてをもつ <重点教育目標>

自分のめあてをもち ねばり強く取り組み振り返る

考えをもつ

自分の考えをもち 相手の考えを理解し伝え合う

よさに気付く

自分のよさに気付き 相手のよさをみとめ学びに生かす

駒場だより

地域に支えられ、子どもたちはがんばっている

校長 永澤 篤

いつもより少し短い夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。ご家庭や地域の皆さんには、この16日間、子どもたちが大きな事故等なく元気に過ごすことができましたことに、心からお礼申し上げます。

さて、夏休みのはじめに行った「こまばっ子 学び遊びウィーク」の様子を紹介いたします。

図書室での勉強タイムでは、PTAの予算から購入費を補助したワークブック等を持参し、1学期の復習などにとっても集中して取り組んでいました。また、易しいテニス型ゲームの「テニピン」の体験会では、はじめての経験にもかかわらず、繰り返し練習して簡単な打ち合いができるようになる姿も見られました。プログラミング体験会では、プログラミングの基本が楽しみながら身に付く冒険絵本「toio (トイオ)」を使って、絵本の上でロボットを動かしたり、タブレットを操作して、ボール型ロボット「Sphero (スフィロ)」を動かしたり、子どもたちは、遊びながらプログラミング的思考を働かせていました。さらに、読み聞かせの会では、目を輝かせて聞き入る子どもたちの姿がありました。



こうした取組ができ、子どもたちの意欲や興味・関心等を高めることができましたのも、PTAの皆様のご支援はもちろんのこと、アフタースクールの先生やテニス協会の方々、大学の先生、学校司書の方など、多くの関係の皆様のご理解のお陰であり、心から感謝申し上げます。

そして、2学期が始まり、ご家庭や地域の皆さんには、子どもたちの交通安全など見守り活動に多くのご協力をいただきました。早朝から、ありがとうございました。

2学期は、これまで中止や延期になった学校行事などを感染症対策に十分配慮しながら、実施方法等を工夫して行う予定です。例年とは異なる状況の中ですが、子どもたちの学びを保障し、可能な限り豊かにできるよう、皆様のお力をお借りしながら、取組を進めてまいります。



2学期も、引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



